

大學當局の対市交渉からの学生排除を粉碎せよ！

当局の大学協議会団体交渉路線は、 市予算全面貫徹の斗いの敵対だ！

1 十四日の協議会団体交渉を明らかに
になったことは何かな——対市
交渉からの学生の排除——

十四日の協議会団体交渉に於て、我々は二月の代議員会決定、12日の
中執決定に基づき、市当局と大学当局と学生の大衆団体の協定を被
議会に提出した。それに対して大学当局は従来より少し人数が多い、
しかも従来通り学生を一切排除した対市交渉団なるものを提起する
のみで、我々学生が予算交渉に介入することを一切拒否した。我々
は今回の市予算案の中、大学側の反動的自主規制の粉砕、学生間
係予算の序列撤回をなすこと、大学自治、教授会自治を拒否し、学
生のへんも二による自治を實現化しつつある。更に我々は市長団
交によつて現在の予算案を市当局―事務局長―大学当局を
拒否し、その代わりに

我々学生が介入す
ることによつて学生が自治を担う権利主体としてあることを確立さ
せ、更にそのことによつて市当局を全面貫徹しなければならぬ。

2 再度の協議会団体交渉を市当局と大
学当局と学生の大衆団体とを確約
させよう。

本日十一時から学生部委員に於て、我々は学生部長に学生代
表と市当局との会見を斡旋させることを最低の任務としてゐる。し
かしながら我々の目的は市当局と大衆団体の交渉であり、大学当局の
参加しなかり学生代表の会見は、学生排除の従来の大学自治、教授会
自治の路線をなさない。我々は明日再度協議会団体交渉を要求し、市当
局と大衆団体ととの交渉を斡旋せよ、とすることを最大の
任務としなければならぬ。

3 民衆の党利党略スト、
シオニズムを暴露する。

民衆全連帯委員会提起した1・2の諸要求は
今や破産した。市予算と何ら接点をもたない、しかも
民衆全連帯の全の方針を市大が反へる押しつけとせ
く、引回し、「東大斗争を支援」スト、具体的戦略
なき空文句としての「市大民主化」、即物的要求意識
の物とり主義的「市予算大削減」等、ストライキと
いう最高戦術形態をとるこの決定的意義を理解しな
い彼らの方針を無方針に明らかに党利党略的セクト
ウツに統制せよ。